



サービス動作体験編(短縮版)

KoPpoMaiを使った LBSコンテンツ作成について



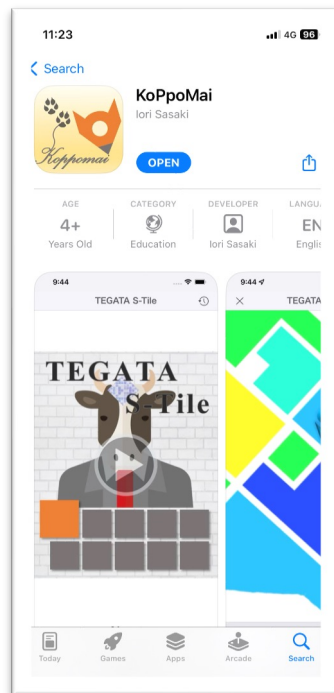


1/3

アプリKoPpoMaiとは？

実習で扱うツールについて

- 皆さんが扱うのは
 - コンテンツ定義フォルダ：MyContent
 - モバイルアプリ：KoPpoMai (こっぽまい)



AppStore

①インストール

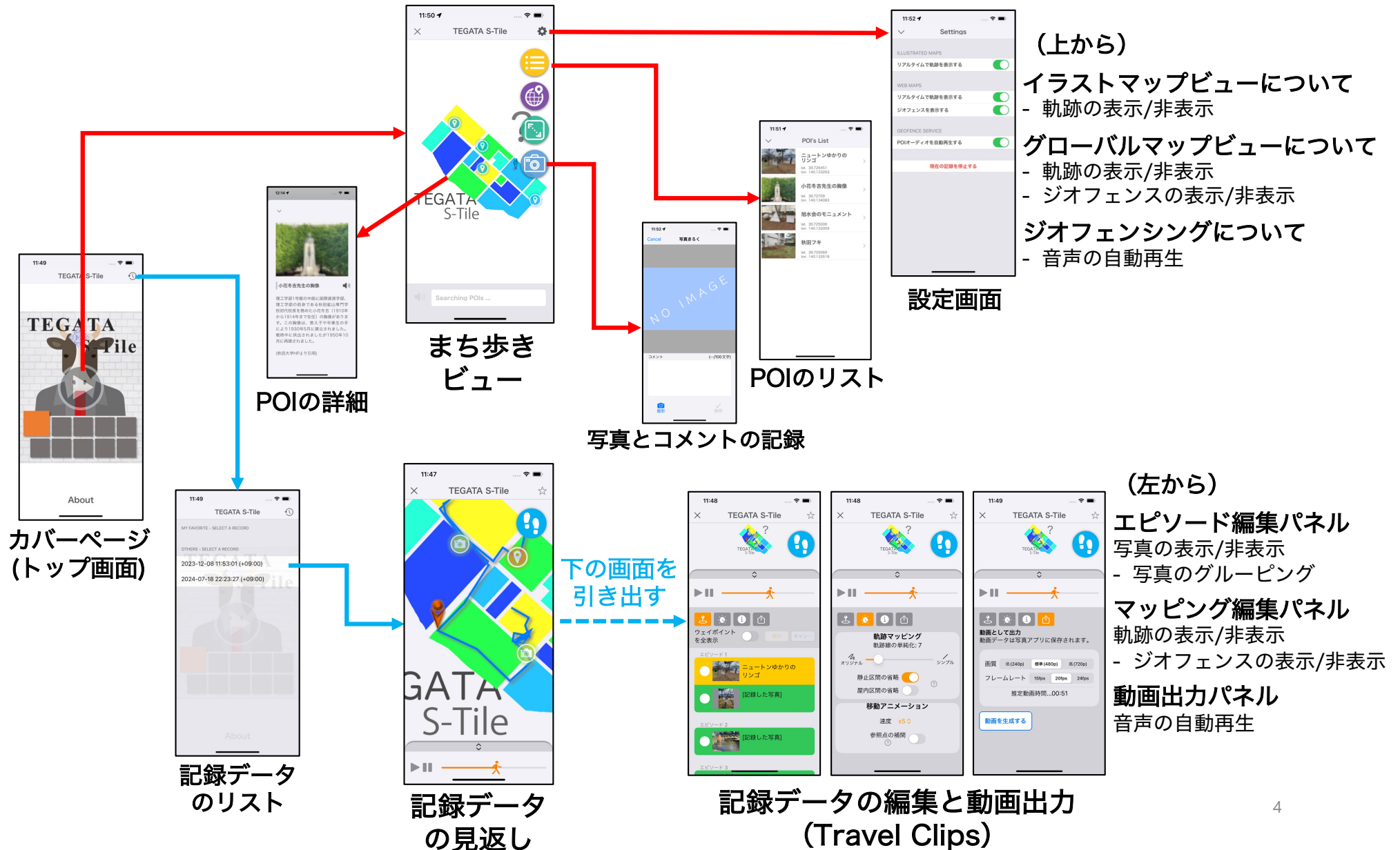
iPhone



②ロード



アプリKoPpoMaiの画面遷移図



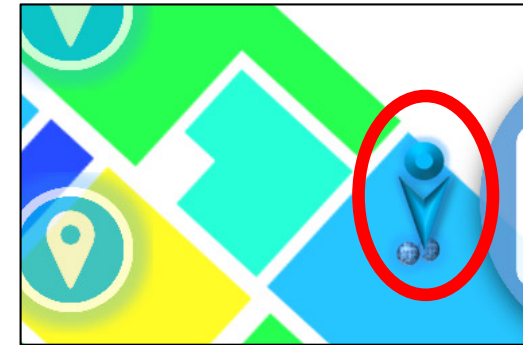
まち歩きガイドサービスを作ろう！



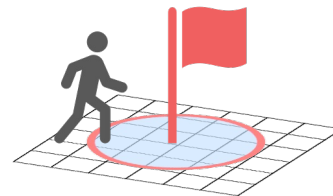
(1) ジオリファレンシング



ガイドマップ上で
現在地が確認できる。



(2) POIとジオフェンシング



POIに近づくと
ガイドが自動で
再生される。



スタンプラリーも
実現できる。



2/3

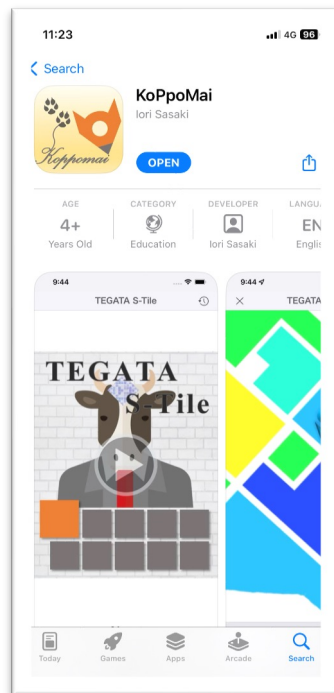
コンテンツ定義フォルダ

KoPpoMaiをカスタマイズしてアプリを作る



実習で扱うツールについて

- 皆さんが扱うのは
 - コンテンツ定義フォルダ：MyContent
 - モバイルアプリ：KoPpoMai (こっぽまい)



AppStore

①インストール

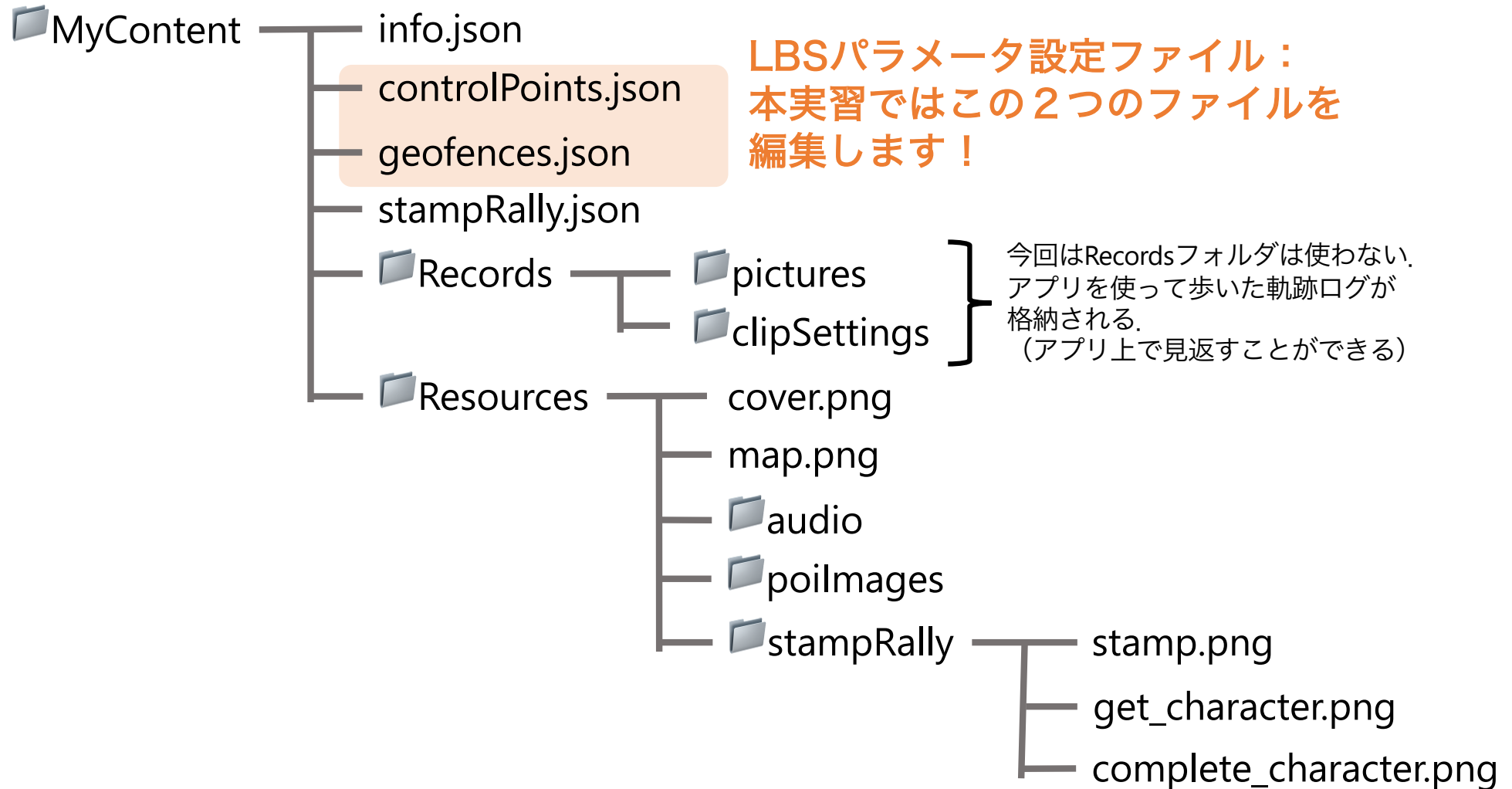
iPhone



②ロード



MyContentフォルダの階層



- この構造とJSONファイルの文法が適切になされていないと正しくロードされない。

補足：JSONファイル(.json)とは？

データ記述言語

- コンテンツのタイトル名やGeofenceの中心位置や半径など諸々の設定を記述する。

```
{
  "名前": "秋田 太郎",
  "年齢": 26,
  "身長": 173.4,
  "ペット": [
    {
      "名前": "タマ",
      "年齢": 4
    },
    {
      "名前": "ポチ",
      "年齢": 6
    }
  ]
}
```

JSONファイルの記述例

文字列型はダブルクォーテーション「"」で囲う。

数値型はそのまま記述。

配列型は角カッコ「[]」で囲う。

```
{
  "名前": "秋田 太郎"
}
```

キー 値

controlPoints.json -ジオリファレンスのため-

```
1  [  
2    {  
3      "geo": [xxx.xx, xxx.xx],  
4      "img": [xxx, xxx]  
5    },  
6    {  
7      "geo": [xxx.xx, xxx.xx],  
8      "img": [xxx, xxx]  
9    },  
10   {  
11     "geo": [xxx.xx, xxx.xx],  
12     "img": [xxx, xxx]  
13   }  
14 ]  
15
```

数値型配列な二つのキー(geoとimg)からなる辞書の配列型になっている。

コントロールポイントの数だけ配列の要素数を増減させること。

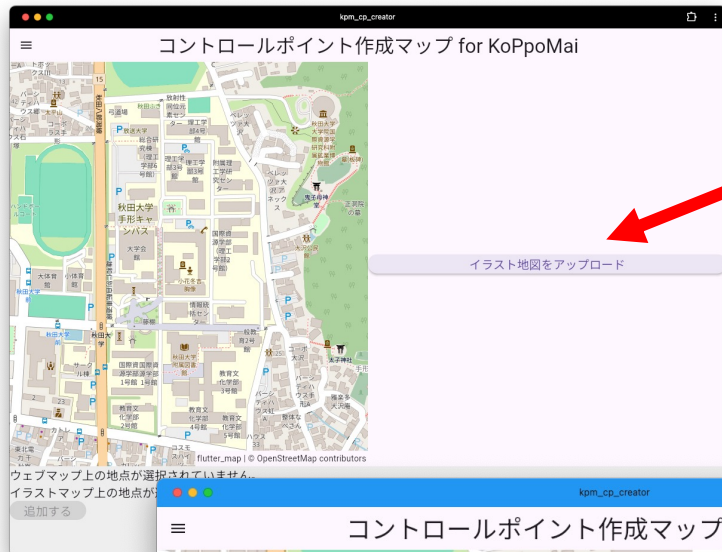
➤ **geo**: 地理座標[緯度, 経度]。[小数値]

例：東京タワーならば, [35.658584, 139.7454316]

➤ **img**: 画像座標[x, y]。単位はピクセル。[整数値]

例： [123, 342]

controlPoints.json -ジオリファレンスのため-



「アップロード」から、
設定したいイラストマップを
選択してください。



間違えたら、
追加済みマーカを
クリックして「削除する」

左右のマップで
対応するポイントを選び
左下ボタンで「追加する」

4~10ほど追加したら
左上の ≡ を押して、
テキストをすべて
controlPoints.jsonに
そのまま置換。

geofences.json -POIとジオフェンシング-

```
1  [
2    {
3      "id": 0,
4      "center": [xxx.xx, xxx.xx],
5      "radius": xx.x,
6      "title": "enter your title here",
7      "script": "enter your script here"
8    },
9    {
10     "id": 1,
11     "center": [xxx.xx, xxx.xx],
12     "radius": xx.x,
13     "title": "enter your title here",
14     "script": "enter your script here"
15   },
16 ]
```

POIを定義してアプリに反映する。
radiusに応じてジオフェンシングする。

idによってマルチメディア(画像・音声)
と紐づく。

POIの数だけ配列の要素数を
増減させること。

- **id**: POIを識別する番号。0からの連番にすること。[整数値]
- **center**: 設置する地理座標[緯度, 経度]。[小数値]
- **radius**: ジオフェンシングする半径[m]。[小数値]
- **title**: POIのタイトル。[文字列]
- **script**: POIの説明・ガイド。[文字列]

例： 秋田大学中央図書館

例： ここでは学生の皆さんが本を閲覧したり借りたり
することができます。

Recordsフォルダ -移動軌跡データ-

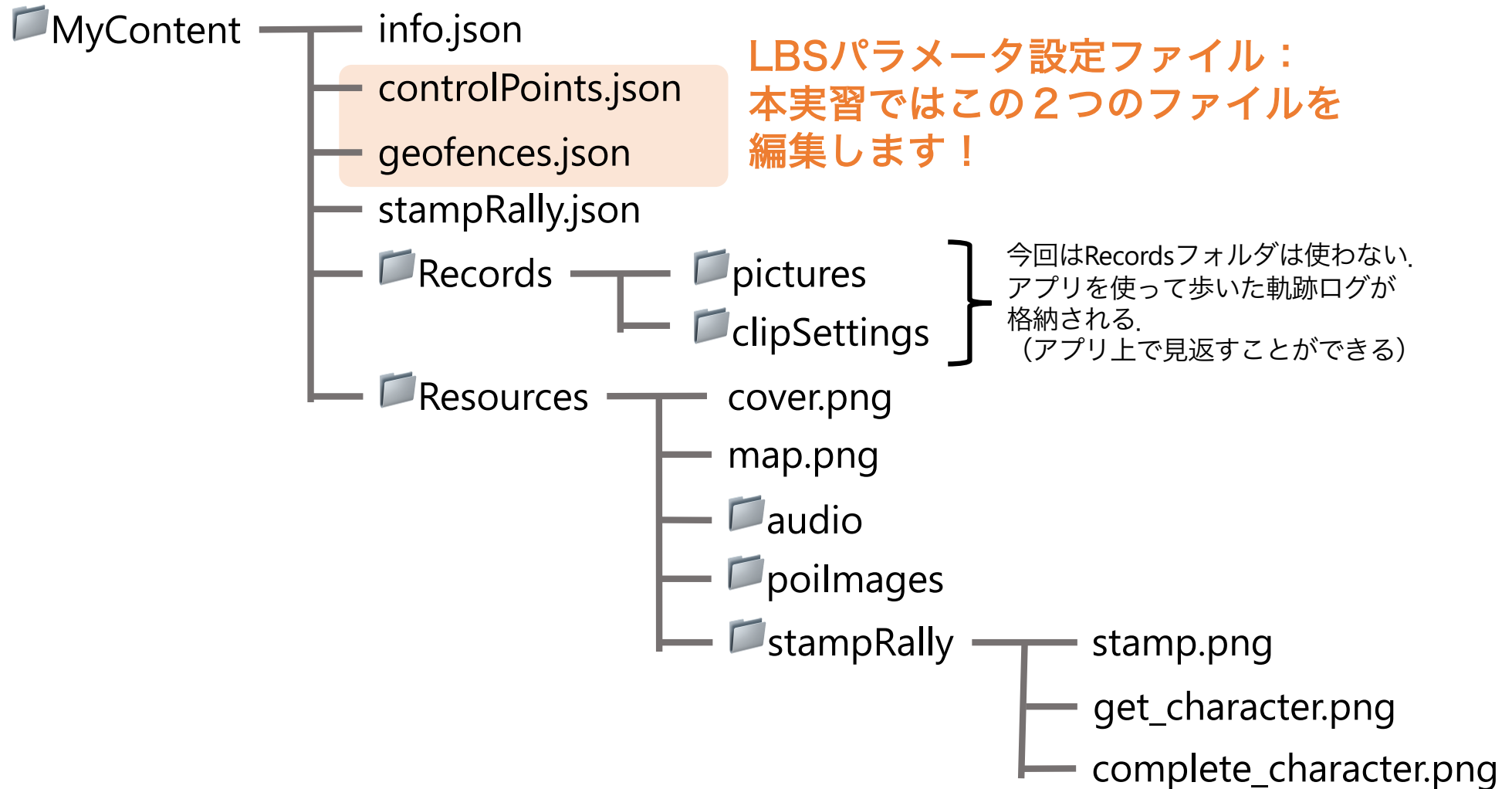
- アプリでまち歩きをすると自動で生成される。
- Presentation Modeから中身を見返すことができる。
- ファイルフォーマットはGeoJSON。
- 中身を編集して、移動シミュレーションができる。
- Clip機能の設定ファイルもここに保存される。

3/3

編集作業のヒント



MyContentフォルダの階層



- この構造とJSONファイルの文法が適切になされていないと正しくロードされない。

編集作業をはじめよう

➤ Visual Studio Code (マイクロソフト社) を使ってみよう。

Step 1: MyContentフォルダを開く。

Step 2: テキストファイルを編集する。

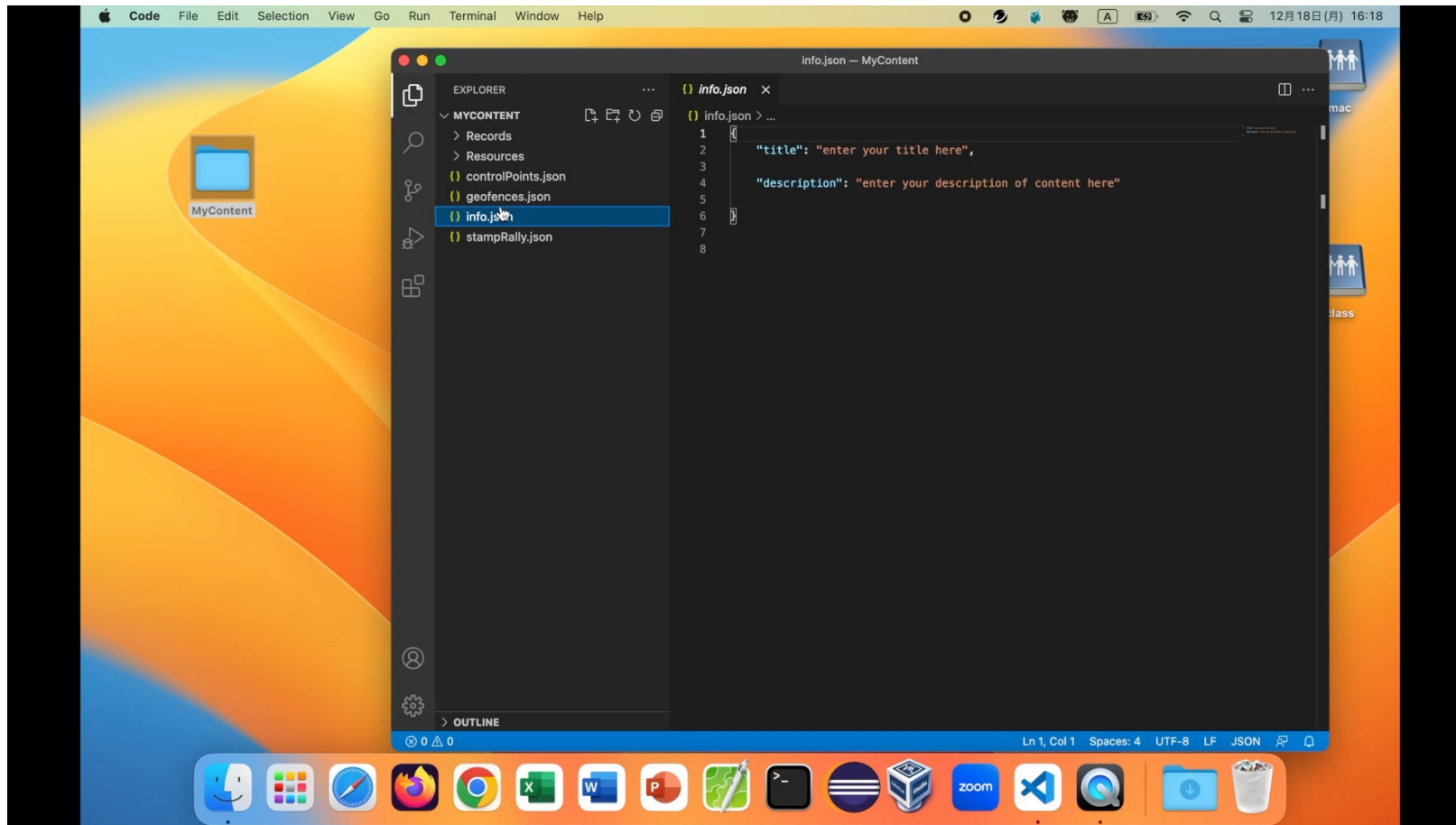


編集作業をはじめよう

➤ Visual Studio Code (マイクロソフト社) を使ってみよう。

Step 1: MyContentフォルダを開く。

Step 2: テキストファイルを編集する。



自作のMyContentをデバイスにロード



MacBookの、
Finderを開く。



- USBで繋ぐとfinderから接続デバイスにアクセスできる。
- ファイルタブを開く(①)。
- KoPpoMai-iOSを開くと、MyContentがある(②)。
- これを削除し、自分のMyContentをドラッグアンドドロップで入れる。
- アプリを再起動。

一度、デバイスにKoPpoMaiをインストールし起動させてからでないとその操作はできません。